

平成28年度採択 水素混合燃料焚き小型高性能ボイラの開発

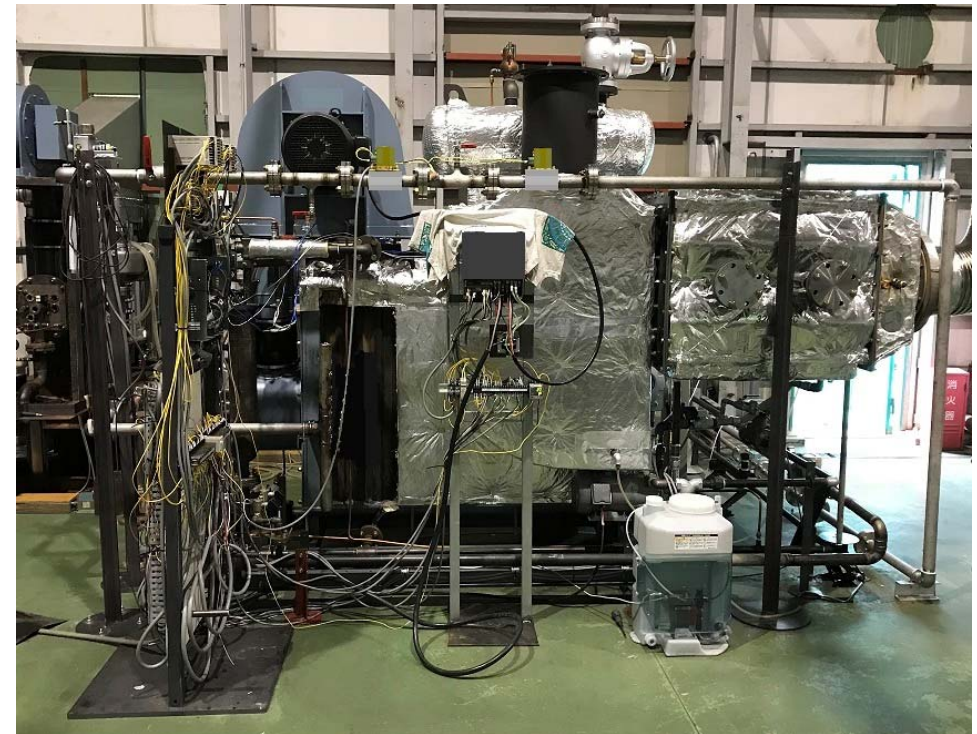
株式会社ヒラカワ（大阪府） 主たる技術：製造環境

「CO₂削減」、「水素社会適応」、「小型化」、「高性能化」を実現する蒸気ボイラの要求に対し、独自技術の管巢（JAFI）燃焼方式を進化させ、天然ガスと水素の混合燃料を使用する、適応能力の高い小型高性能ボイラの開発。

研究開発の成果

蒸発量2t/hの蒸気ボイラにて以下の開発目標を達成した。

- ・水素の天然ガスへの混合比率：50%（最大）
- ・最大最低燃焼量差：10対1の比率（ターンダウン比）
- ・燃焼後の排出NO_x：30ppm以下（O₂=0%換算）
- ・製品据付面積：従来製品の30%以上低減
- ・伝熱面積：10m²以下（小型ボイラー適用）
- ・ボイラ効率：104%
（ボイラの効率表示は低位発熱量基準）
- ・各性能を安定、継続維持する運転制御の確立



研究体制

事業管理機関 公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

株式会社ヒラカワ、学校法人関西大学、滋賀県工業技術総合センター、滋賀県東北部工業技術センター

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：開発室長 上梨厚見

E-mail：a_kaminasi@hirakawag.co.jp

電話番号：077-588-2455